

伝えるための工夫 「みる・しる・しらべる コレクション 雪舟筆『牧牛図』」

前田淳子(山口県立美術館)

1. 「みる・しる・しらべる コレクション 雪舟筆『牧牛図』」について

教員向けガイドブックとして平成17年度に制作

・学校現場で山口県立美術館の収蔵作品を利用できるよう、様々な切り口で作品を紹介
(図工・美術に限らず、社会科、生活科、総合学習などに利用できる可能性も示す)

・作品鑑賞は難しいという教員の先入観をなくす

・まずは教師が読んで楽しいと思い、その気持ちを児童生徒へも伝えたいとなるような入門書

「雪舟への旅」展(平成18年11月1日～30日)にむけて、雪舟への関心を高める

雪舟研究会の研究成果を一般の来館者(今回は学校)に還元

2000部制作 県内の全小中高大学・図書館等、希望する教員に配布

2. 構成

教員から求められる鑑賞授業の How to 本ではなく、作品に接するおもしろさ、学ぶ楽しさが伝わるように

作品 + 作品周辺をよくみる (作品そのものから得られる情報を提供 / 実践例の報告)

作品の背景をしる (より理解が深まるように画家、背景についての知識を提供)

興味を持ち、しらべる (自発的な学習のてがかりを提供)

+ コラム (豆知識)

+ 美術館利用・見学申込書

+ 資料作り、授業に使える画像データ

3. 特徴

ターゲットは教員

教員 (美術専任とは限らない) がストレスなく読むには

・ 体裁

・ 用語・ルビ

授業で使い易くするには

・ 表紙裏に高精細印刷で作品写真を掲載 / 画像データを添付

作品の細部を見るおもしろさを伝えるには

県内の施設の利用を促す (美術館・図書館)

4. その後の展開

新聞で紹介され、一般の人から欲しいという声も

出版社から提案があり、一部改訂して一般書籍として販売 (平成18年10月)

全国学校図書館協議会の選定図書に

5. 伝える工夫

展覧会での工夫

広報ツール・・・誰に、何を伝えたいのか